



研究集会「台風災害低減へ向けた挑戦—わたしたちは今何をなすべきか—」 開催のお知らせ

以下の日程で、台風に関する研究集会を京都大学防災研究所の支援を受けて実施します。今回は、台風災害の軽減・防止に向けた現状と課題に焦点を置きたいと考えております。本研究集会での発表希望者を募ります。旅費も一部援助できますので、奮って応募してください。

日時：10月14日（木）午後から10月15日（金）

場所：京都大学化学研究所共同研究棟大セミナー室

内容：基調講演 山岬正紀（地球フロンティア）、
寶 馨（京都大学防災研）両氏を予定、一般講演（気象学、工学、水文学、海洋学などの台風に関する研究）

台風災害において、人的被害は昭和30年代後半から昭和40年代にかけて大きく減少したが、経済活動等の高度化以降、あらためて気象災害の中で大きな比重を占めるようになっていきます。産業活動や交通機関の停止など各種経済活動への打撃など、高度化による脆弱性の拡大によって、台風は、経済的・社会的にかえって大きな影響を与えるようになってきています。

本研究集会は、これら台風災害の軽減・防止に向けて、わたしたちがこれまでどのように取り組んできたのか、今被害の低減に向けた課題は何か、これからの取り組みはどうすればよいか、等について、気象学、工学、水文学、海洋学などの各専門分野の知見を結集し、研究者や技術者が一堂に会して、総合的にこの問題について議論したいと考えています。

現在、地球フロンティアの山岬正紀、京都大学防災研究所の寶 馨の両氏に基調講演をお願いしていますが、このほかにもご講演をいただける方を募ります。一定の旅費を確保しておりますので、ご希望の方はあわせてご連絡下さい。ただし、金額に限りがありますので、すべての方のご希望に添えない場合があります。

また、10月14日の夜、懇親会を開きます。

講演していただける方は、氏名、所属機関、住所、e-mail、講演タイトル、講演希望日および時間、旅費希望の有無、懇親会参加の有無を明記の上、8月20日までに林 泰一 (hayashi@rcde.dpri.kyoto-u.ac.jp)宛てお申込ください。



一覧表

平成16年度（第26回）沖縄研究奨励賞の推薦募集	544
気象庁研究時報56巻1号内容案内	550
第27回極域気水圏シンポジウム開催のご案内	555
研究集会「台風災害低減へ向けた挑戦—わたしたちは今何をなすべきか—」開催のお知らせ	563